

介護実習 I

担当教員 吉岡 久美、馬場 敏彰

配当年次 1年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 実習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

通所施設や居宅施設を利用する日常生活援助が必要な人を知り、その介護の目的や機能並びに施設職員の役割について説明できる。

【授業の展開計画】

科目担当者 実務経験

【吉岡】大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、
介護福祉士養成校教員 他

【馬場】介護施設（介護福祉士）、介護福祉士養成校教員 他

利用者と関わることでその人を知り、講義、演習、学内実習で学んだ知識を基に介護ニーズを考える。

1. コミュニケーション能力を身につけ、対象者理解を意識して行動する。
2. 福祉施設（ディサービス等）の機能と職員の役割を知る。
3. 施設内の環境を知り、実際の介護技術の提供場面を体験する。

【実習内容】

1. 利用者とかかわり、コミュニケーション技術を習得する。
2. 利用者のニーズを考え、介護の実践の場を体験する。
3. 記録を通して自己の学びを明確化する。

【履修上の注意事項】

実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること。（60分）
実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと。（60分）

【評価方法】

施設指導者による評価 60% 実習担当教員による評価30% 実習への総合的な積極性 10%

【テキスト】

新) 介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規

【参考文献】

本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等